

西陣織会館

[北野-西陣]

西陣地区は、西陣織として知られる伝統的な織物の発祥の地です。西陣織は絹製で、高品質の着物、帯、そして関連の装飾品を作るのに使われ、これらは貴族、皇族方、そして裕福な商人たちが、主に儀式やその他の特別な機会に着用しました。

西陣織会館では、何世紀にも及ぶ西陣織の歴史を詳しく学ぶことができます。西陣織会館は、西陣地区のものづくりの歴史を来館者に紹介し、西陣織が平安時代（794–1185）以降の京都の文化に与えた決定的な影響を跡づける文化施設です。

西陣織会館は、西陣織の職人が腕を披露する場ともなっており、絹織物を伝統的な機織り機で作る様子も見ることができます。また手作りの絹製の様々なお土産やモダンな洋風の棒針編みの作品なども販売されています。西陣織会館には、養蚕から手の込んだ精緻な糸の染色法まで、絹の生産手順について来館者が学べる展示室もあります。